



昭和四十二年度の施政
市長所信を

三月定例市議会

(要旨)

昭和四十二年四月、新憲法案とその附随議案をお願するに当り、市政の基本的な事項を一方にして所信を申しのべます。

私が所信を申しのべたいのは、この年度で六回を充てるに當り、また、この年度で新内閣を構成された三十八年度は赤松生年の年であり、そして、この年は自民再興の年でもあります。

この間各党には絶大な協力関係あり、また市民各々からの各種の要望も耐えしのびでいた。たゞ結果、計画を一層縮減して再びを要す。また昨年の七、七十七年度は前年の延長、財政緊縮政策を見ますと、その間各党の努力とその協定に多大なご尽力があり、ある、時々、その困窮にゆめざるを防止し、その協定におもひ頓つておられるを得ましたことに、ここに改めて深甚な謝意を表するものであります。

都市開発強力に推進

[illegible]

一刻も早く湛水防除を

この都市間の中心にある色をどうにかしてゆくか、いかにして産業を市民生活に支える、市民福祉を上昇させるか。然る条件とする問題が行政の中心課題となりました。

私らは以上の考えを基本として、昭和四十一年度の推定と照合し、開港計画の推進のために商業、各地域にわたる均整ある施策を進める存在であります。

まず、市内の洪水防除事業は、当時の現況から

必要ない運動を行なう必要がありました。その関係各位からも十分なる協力をお願いしてやまふべし。

市街地における治水事業はすでに着工の都市部

農商工の近代化に努

[illegible]

育振興と施設改善

學校教育の振興、施設の改善については私が局長に任じ、最も意を用いてきたところであります。なかにも小規模校の教育効果は適正規模以上の学校と格段の差を生ずることは自明の理であります。幸い関係各位のご理解、協力により、この二、四年間の中、南校が統一的に至り、新年度に遷移するたため、別途議案を提案しております。

箇目の小、中、南校の統合により、南小南校の教育振興に十分にたなへて、今後とも、学校規模の適正化を進めてまいりたいと存じます。

—あり、ご賛成を得られ

賃が必要であり、農教
育にはこれに意を用い、最
少所存とする。

○商工事業を振興は、農業
とともに日本の振興の要
に重要な役割をになう
ものである。

したがって商工部門で
は金庫所としての金利目
力強化の策として、相互
の共同化、協進めを考へる
などの方策を進めるべきな

質がなければならぬ。他
ならば十分なる他の措置
もまた必要と努力を払つて
ものであります。

○当市産業の運は工業と
生産の伸びなきにある

勞働力の流出を計らう
市民勢力の向ふをおさえ
近代経済社会の時流を乗
り切つて将来に有利な政
策のために、工場敷会
などは今後機会ある
ことに積極的に活動す
ることを習慣にするこ

新年度予算十一億五千万余

た、関係閣僚間の協力、指
導を得て今年度より四か
年計画で年次費一億五千
万円を必要とする国庫事
業に事業の推進を計ると
してきている。

国庫と協調臨和
事務改善は検討中

市の繁栄発展には、そ
れを必要とする理念は、
もたねばならぬ。と申し、

建設

私は昭和四十三年度の
予算編成中であり、前年
度より一億九千万の増を
中へする、鋭意増額の
中で、更に強力な削減の
の経費を節約し、例え
ば、建設事業に、
夫を、更に建設事業に
少して多く取らねばなら
ぬことに力を用いること
健康費用を維持するに
金を用いてまいりました。
この方針に基づいて、種

示の実施による
図などの作成秀

要請されます。
前申上げた如く、
地蔵経済の発展と社会施
資の振手となつてきた
今日、つねに国、県の計
画と積極的な関連のう
えで、計画策定とその実
施が確保されてこそ、は
じめて開発のテンポを早
めるのであります。

教育振興と施設改善

この頃は前年、当初予
算に比べ、二億一千八十
万円、二二・五%の増
加となつてゐた。
就出予算に対する財源
源として、一般財源六億
四千四百九十九万四千
四角、国庫支出二億六千
三百三十四万四千、地方債

競却戸建没四千三百万で

かねて懸案のゴミ収集区域の拡大と、焼却能力の強化は、かねて今年中に、現在の焼却炉側に、一日焼却三千屯の焼却炉を建設することにしてその事業費約四百三十万円の計上しました。

市内南町の伝染病舎を改修し、運営上必要とされる、市営土地区画整理の下興市営土地区画整理の改良工

あります。

農林施策

農業構造改革事業は引き続き第三次事業を行なうことになり、三十三万五千五百六十円、近代化建設費には一千九百九十四万八千円、一九九九年、四万八千

二期分として

[illegible]

学校の増改築

秋葉学園

この事業に重点配分
一億四千四十三万二
千円を計上いたしました

学校施設は継続事業の
小学校舎増築、小中
体育館新築工事、新規
校舎設計と、第一棟の
改築、旧統合校へ入る二
中の整備調査、新小三
小中学校の埋立新築、
地を予定した八千四百
万円を計上いたしました。
昭和廿四年整頓工業
高校の校舎建築、校地並
地に對する地元買収費等

奨學金の課料は保險
料その他費を他運営管
理の設備等に充てられ
ては金一万圓を計上
して、我々の資金は
今後根據地に充てるこ
とである。

新高島町の教育教室
敷地グラウンド用地典
當金は初年度二百一
十萬圓に一筆償却に対
する降價品鑑査の寄附
金三十萬圓を計上し
ました。

收丁曾預、谷上水寺一

[illegible]

六、歳出の不足差額三十四万円を委託料として、

[illegible]

別会
営業関係
わす収益

水道事業特
 子算は一億一千六百三十
 万八千円と定め
 ました。
 さきにこの審議
 を得ましたに就
 ならびに改良工
 事関係の資本的
 設備は、
 省省への委託工
 事とする
 こととす。

四万円と定め、その
所要の経費を計上

取替の予算計上分については、特に収支差の確保を図るため、有収支差の解消もまた主要原因のひとつを注ぐこととし、特に収支差に重要な影響を及ぼす水浴は、以上昭和四十二年の一般会計予算・特別会計予算ならびに各課の大要を申し上げましたが、十分ご審議のうえ賛否なくご決議を賜るようお願い申し上げます。私の説明は以上です。

国保特別会計
一億九千余万

活動に當つたに對する教育費を推し進め、行々之を擴張せしむるの計ありと云ふ。未だ組織部、保健部の組織及び各職級官吏の等級の相違等より自主的、進歩的の推進を図り、補給營業の活動にも十分意をつくすつもりである。

三十九年度以前以來の一様、二種木造、簡材住宅として、別居住宅と認可預との差額を引算して上乗せることに依り、税金

國民健康保險特別會
の歳入、落は一律九千三百三十六円と定めてゐたが、七十四年度は七千四百八十五千五百圓とし、一世帯當り一九百六十八圓九角で前年比五、六%の上昇となつて來たが、保険料の賦課額も此の増大に應ずべきものがあるから、保險料を負担する能力は相當にある。

に止めております。

今後市営住宅入居者のサニタスを用いるための修理にも向うることとし、今年分では百万円を計上しました。

消防庁舎を新築

消防庁舎は老朽もはなはだしく、消防力の強化を図る必要上、現位置に鉄筋コンクリート二階建の

整理資金特別会計は、その整理を完了しましたので、その経過を記したため特別会計を廃止し、その一部改正を、追加案例として上げております。

新津市と沼島整理資金特別会計については、かねて策定した計画に基づき、まず算計上しておりま

度から四カ年計画で

また、資本的予算計上については今回の拡張により改良事業中、今年よりは取水設備用地買収、水管の布設等を見込んでおります。

このうち取水設備は建設省への委託工事とするおられます。

全体計画については

会計予算・特別会計予算に上りましたが、十分に配るようお願い申し上げます。